

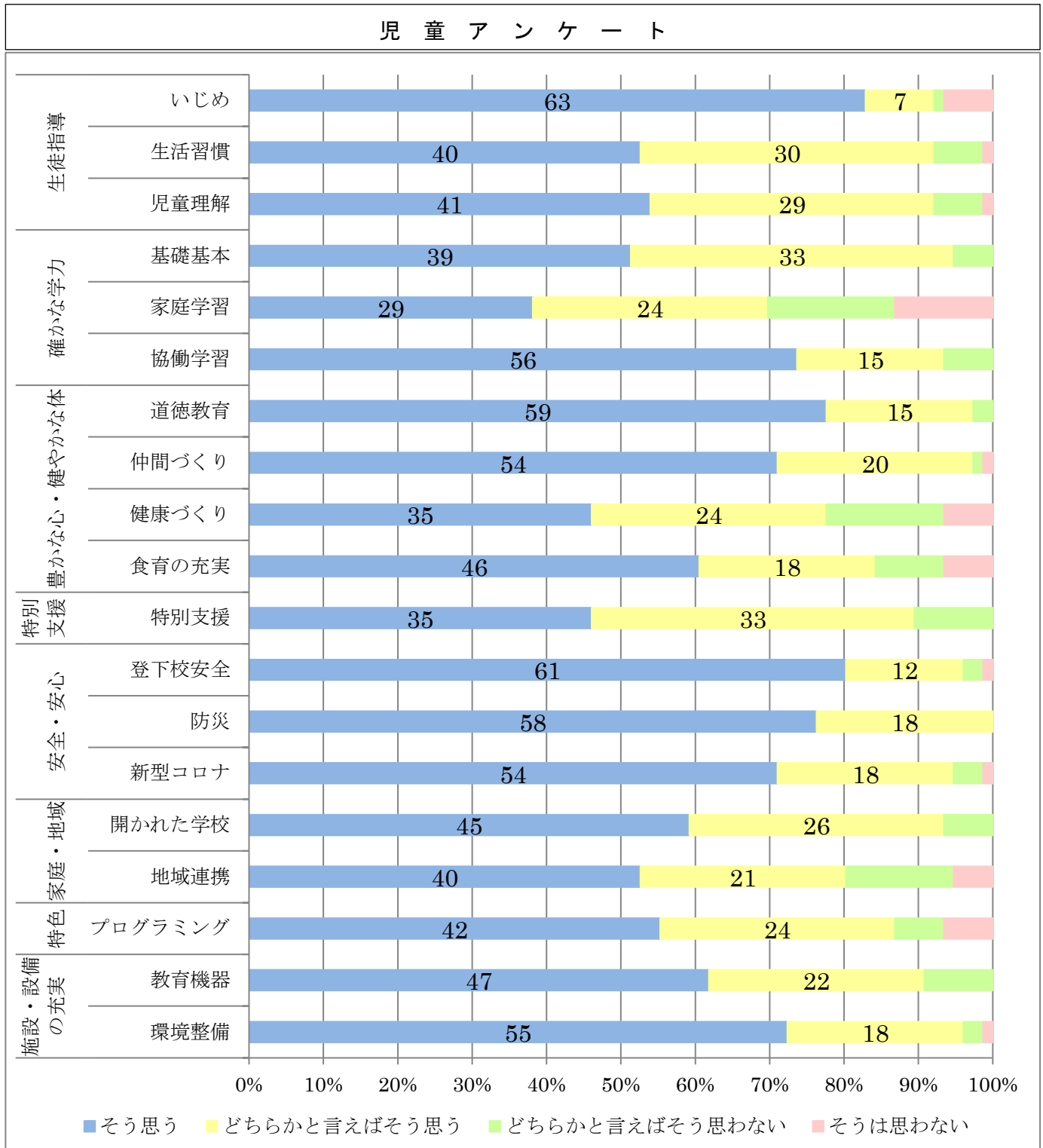
## 【児童・保護者アンケートの集計結果から】

12月に実施した学校評価アンケートの集計結果についてお知らせします。

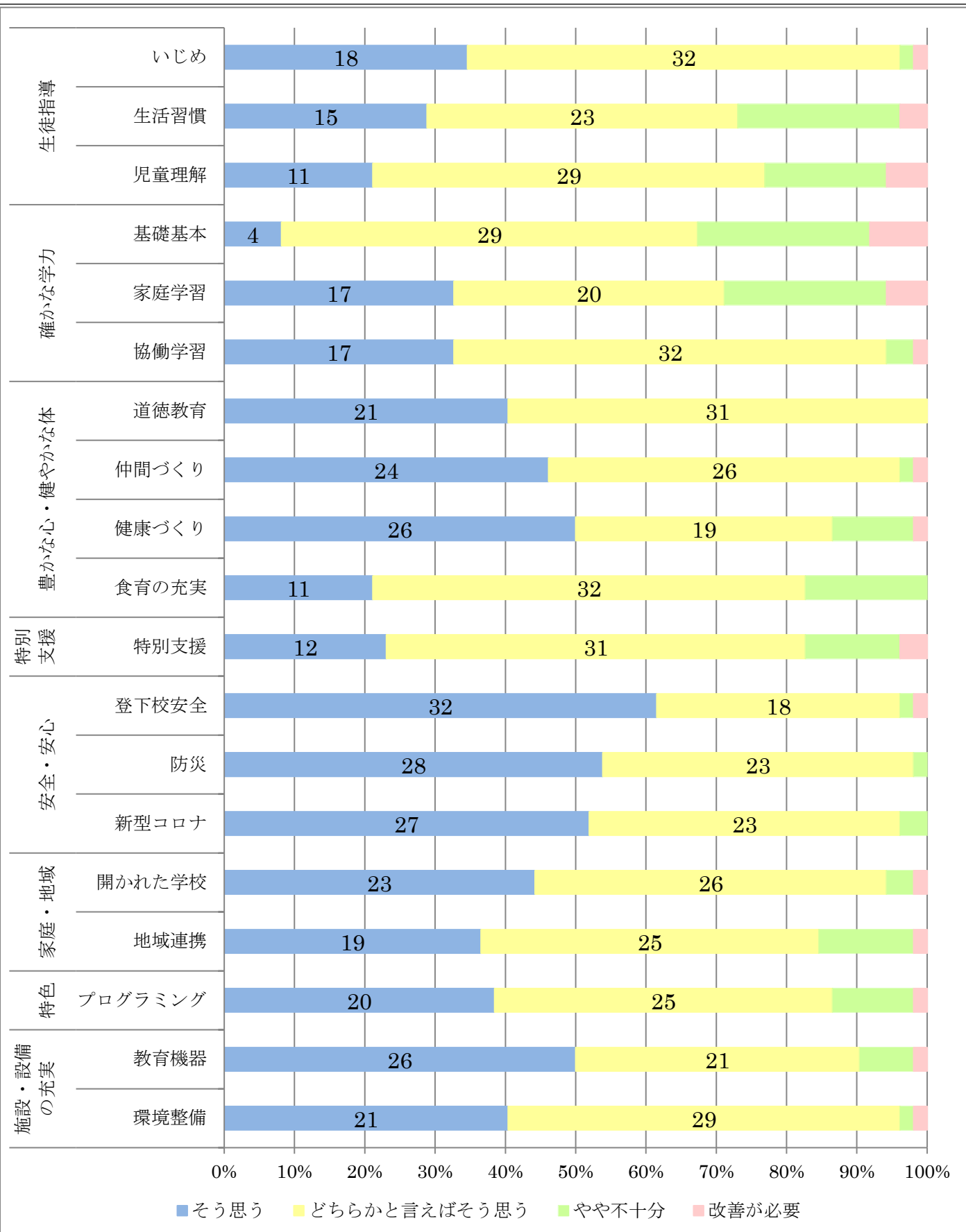
アンケートでは、拝志小学校の教育活動として取り組んでいることについて、「4段階」で評価していただきました。

アンケート結果をグラフにして掲載しております。この結果を今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

※ 各項目の質問内容については、紙面の都合で示すことはしていません。ご了解ください。



保護者アンケート



裏面もご覧ください。

## 【学校評価に寄せられた保護者からの意見】

- お世話になっております。いつも子どもたちのことを考えていただきありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。
- 以前は通学路によく担任の先生方の姿がありました。登校から見守っていただける姿に感謝していましたが、今の方は1度も来たことが無いです。寂しいです。
  - 大勢の地域見守り隊の方が、毎日、児童の安全な登下校を見守り、熱心にご指導いただいていることに感謝しています。また、毎月の見守り隊活動期間中は、保護者の当番の方にも協力していただき、登校時の安全確保がしっかりと図られています。本校では、登校後の安全管理のため、学級担任は、できるだけ教室で児童を迎え、体調が優れない児童に対応ができるようにしています。そのため学級担任ではない管理職等が見守り活動を行うように分担していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
- いつもお世話になっております。拝志小学校の教師がどれだけ多様性について理解し、拝志小に通う子どもたちに実際に具体的な支援ができているのか、それを行うのが学校なのかそうでないのか、気にはなっています。発達障害であったり、HSCなどの気質であったり。その子の特性にしっかり配慮された教育、指導をお願いします。
  - 本校では、年に数回、特別支援教育に関する専門の先生を招いて研修を行っています。巡回相談での指導講話を生かし、校内研修を充実させ、教職員が意識統一して指導に当たることで、児童の成長につながるよう努めています。今後とも、学習面や行動面で気になる児童に対して、保護者の願いを聞き、学級担任と特別支援コーディネーターが連携し、それぞれの困り感を把握して適切な合理的配慮ができるように努めていきます。
- みんな違ってみんないいと掲げられていますが、学校では、子どもは違っていたら同じことをするように言われ、教師も個々で対応を変えると注意され、反面、一人一人に寄り添った対応をしなければならないし。子どもたちも多様性を受け入れるには未熟なわけで…。難しいところです。
  - 日頃から 教師が児童とのよりよい人間関係を築き、その中で児童理解を促進していくことを大切にしていきたいと考えています。また、一人一人の特性や人間性を捉え、個に応じた関わりができるよう努めていきます。
- 学校の授業の理解は個人差があるので、いい点を取っている子がいるから教え方は大丈夫でもないかと思えます。塾なり家庭学習の結果で点数が取れている場合もあります。教師は勉強を教えるプロですから、授業は分かりやすく、子どもたちを惹きつける授業をお願いしたい。親が教えるのはなかなか大変だと実感しております。
  - 大型教材提示プロジェクター等を活用し、デジタル教科書や映像コンテンツを拡大して表示したり、写した資料を生かしながら板書したりするなど、児童にとって分かりやすい授業になるよう工夫して、基礎・基本の定着に努めています。また、学習の核となる「協働的な学び」については、本校で設定した話し合い活動「ハイリントタイム」を積極的に取り入れたり、ロイロノートを活用して互いの考えを交流したりしながら、協働的に課題解決をすることで、児童の満足感、達成感を高めるように工夫しています。しかしながら、これでよいというものはありませんので、今後も引き続き研修を積み重ね、よりよい授業を目指していきます。

ご家庭でも、お子様から学校の授業の様子を聞いたり、宿題を見たりしていただき、分かっていない内容等がありましたら担任や他の教職員に質問して解決するように、お子様に声掛けをしていただけたらと思います。家庭と学校が協力して学力の定着に向けて取り組んでいけたらと考えていますので、ご協力をお願いします。
- 宿題で算数などの問題でタブレットを使うのはいいが、式を書かせるまでの問題は紙に書かせるようにしていただきたいです。教えながらしても、タブレットに書くのに精一杯になり、問題が頭から離れていってしまいます。教科書やタブレット等の持ち帰りを含め、メリハリのある家庭学習に対する対応も希望します。
  - 家庭でのタブレットの活用は、個別懇談や学校運営協議会でもご意見をいただき、活用の仕方について検討中です。タブレットを使うときでも、横にノート等を置いて計算しながら、メモを取りながら活用することが基本ですので、学校でもそのように指導し、よりよい活用になるようにしていきます。また、持ち帰りの件ですが、2月より1・2年生用の AC アダプターを教室に配備しました。そこで、1・2年生は週末のタブレットを活用した宿題は出さないようにし、金曜日の持ち帰りは原則せず、希望者のみ持ち帰るようにします。また、3～6年生は、これまで通りタブレットを持ち帰りますが、希望者は学校に置いて帰ることができるようにします（後日、文書配付）。10月から始まったタブレットの持ち帰りにつきましては、まだまだ試行錯誤中です。お気付きの点がありましたら学校までお知らせください。

※ いただいたご意見を検討し、よりよく改善していきたいと存じます。